

2.4.1

\mathbb{Q} が \mathbb{Q} の有限部分集合

$$S = \left\{ \frac{b_1}{a_1}, \frac{b_2}{a_2}, \dots, \frac{b_n}{a_n} \right\} \text{ で生成される}$$

ただし $\frac{b_i}{a_i} \in \mathbb{Q}$ は既約分数とする

素数は無限に存在するので $\prod_{i=1}^n a_i$ 以上の素数 p を取る。

このとき 仮定より

$$\frac{1}{p} = \frac{b_1}{a_1} k_1 + \frac{b_2}{a_2} k_2 + \dots + \frac{b_n}{a_n} k_n \quad (*)$$

$k_i \in \mathbb{Z}$ が存在する。

両辺を $p \times \prod_{i=1}^n a_i$ 倍して

$$\prod_{i=1}^n a_i = \left\{ k_1(b_1 a_2 \dots a_n) + k_2(a_1 b_2 \dots a_n) + \dots + k_n(a_1 a_2 \dots a_n) \right\} p$$

この式の右辺は p で割り切れるが、 p の定義より左辺は p で割り切れない。

よって 矛盾 する。

(1.2) 成り立つ

題意は示された。